

2009年7月17日

～ 自然を感じ、四季を感じ、子どもの感性を育む住まいの設計 ～
「住友林業の家」の設計思想“涼温房” 第3回キッズデザイン賞受賞

住友林業株式会社（社長：矢野龍 本社：東京都千代田大手町1丁目3番2号）は、キッズデザイン協議会（特定非営利活動法人・内閣府認証NPO 本部：東京都文京区）が主催する「第3回キッズデザイン賞」において、“建築・空間デザイン部門”で「住友林業の家」の設計思想である『涼温房（りょうおんぼう）』の考え方がキッズデザイン賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

住まいは生活の基盤です。「住育」ともいわれるように、住環境を整えさらに快適な暮らしのために住まい方を工夫することは、子どもの成長にとって大切な役割を果たします。住友林業の『涼温房』の設計が、四季のある日本の快適な住まいのあり方を考え、これからの地球環境を考え、自然を感じ、季節を感じ、感性を育む家づくりを提案します。

＜キッズデザイン賞とは＞（キッズデザイン協議会HPより）

子どもたちの安全・安心の向上、健やかな成長発達につながる製品、サービス、プログラム、活動などを顕彰する制度で、受賞作品は「キッズデザインマーク」の使用が認められます。産官学民がデザインの力を通じて生み出した子どもたちのための成果について、社会的、文化的な価値の見地から公正な評価を与えその優れたものの顕彰を通じて、産業・研究活動と子ども環境の高度化を図ることを目的としています。



受賞作品

- 部門 建築・空間デザイン部門
- 作品名称 『涼温房』（りょうおんぼう）
- 考え方

冷暖房設備に頼りきるのではなく、太陽、風、緑といった自然の力を効果的に住まいに採り込み、「夏涼しく、冬温かく」過ごせる家づくりを提案する。外部環境から遮断し室内環境のみを快適に保つのではなく、自然のエネルギーを上手に活用し、日本ならではの季節の移り変わり、四季折々の表情を住まいに採り込むことで、自然を感じられる快適な住まいを実現する。設計の工夫に住まい手の工夫を加えることで、四季のある日本ならではの住まいのしつらえ、住文化を体得し、また環境に配慮した暮らし方を工夫するなど、成長期にある子供の感性を育む住まいづくりを提案する。

また、「キッズデザイン博2009」が、8月6日から9日までの4日間青山TEPIAホールにて開催され、“建築・空間デザイン部門”をはじめ“商品デザイン部門”、“リサーチ部門”、“コミュニケーションデザイン部門”等の各部門の本年度受賞作品が展示、一般公開される予定です。

《お問合せ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 松家・佐藤

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272